

「ヤングケアラーとは何なのか？その背景にあるものとは？」

【講師】山田奈緒さん 毎日新聞社デジタル報道センター

いわゆる“ヤングケアラー”と言われる若い人について、周囲からは気づかれにくく、時に「家族」としてケアを担うことを期待されたり、公的サービス等を利用できることを知らないまま孤立を深めたり、自分の人生の選択や可能性をあきらめてしまうといった状況が指摘され、社会的な注目が集まっています。

今回はヤングケアラーのことについて、メディアの立場から取材を続けてこられた毎日新聞社記者の山田奈緒さんにご講演をしていただきます。

*** 講師からのメッセージ ****

毎日新聞は2020年からヤングケアラーのキャンペーン報道を続けています。

私は取材班の1人です。

元当事者からケアの実態を聞き、政府や自治体の動きを追いかける中で、ヤングケアラーという言葉の広がりや、子どものつらさに、やっと大人の目が向くようになったと感じます。

ただ、言葉の「ブーム」に違和感もあります。

ヤングケアラーは子どもの問題でも家庭の問題でもなく、社会全体の問題です。

そういう観点から大人に何ができるのか、みなさんと考えたいと思っています。*****

【当日のスケジュール】

13:00~13:05 開会の挨拶 講師紹介

13:05~14:20 ご講演

14:20~14:45 グループディスカッション

14:45~15:00 全体共有とまとめ

休憩

15:15~16:00 第26回定期総会

*講師は会場にて講演予定です

【開催方法】 会場とオンライン（ZOOM ミーティング）でのハイブリット方式

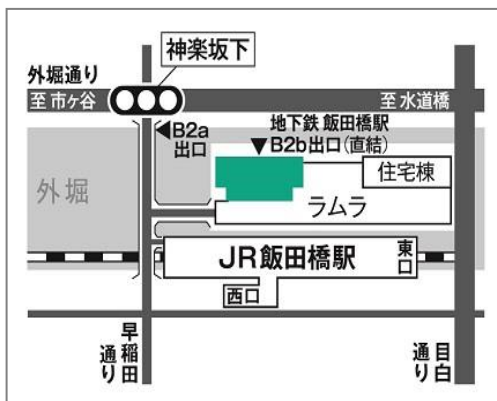


2022年7月18日（月・海の日）13:00~15:00

- 【対象】：①民間相談機関連絡協議会 会員
②区市町村社会福祉協議会、
ボランティア・市民活動センターのスタッフ
③公的相談機関スタッフ
（福祉事務所・保健所・保健福祉センター等）
④民間相談機関・団体のスタッフ
⑤その他、ヤングケアラーに関心のある方

【参加費】：会員 無料
一般 1000円
（オンライン参加の場合は要事前振込）

【会場】東京ボランティア・市民活動センター AB 会議室
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 10 階



JR 総武線「飯田橋駅」
西口より徒歩 3 分

地下鉄「飯田橋駅」
・有楽町線・東西線
・南北線・大江戸線
B2b 出口直結

《主催団体について》

■民間相談機関連絡協議会

都内で相談活動を行なっている民間相談機関・団体によって1997（平成9）年に設立されました。

多様な分野の民間相談機関・団体が相互の連携を深めながら、ネットワーキングを図りつつ、研修事業等を実施しています。

申 込 書

会 員 / 一 般 （住所・電話番号等は差支えない範囲でお書きください。）

〔 団体名 〕 _____ 〔 住 所 〕 _____

〔 担当者名 〕 _____ 〔 メール 〕 _____

〔 TEL 〕 _____

〔 参加者 〕 _____ ○で囲んでください

NO	お 名 前	参 加 方 法	メ ー ル ア ド レ ス
1		会場 オンライン	
2		会場 オンライン	
3		会場 オンライン	

【 一般 オンライン参加申し込みの場合 】

*参加申し込みをいただいた後、参加費の振込先（銀行または郵便振替）をメールにてお伝えします。
お振込みを確認後、ZOOM ミーティング ID とパスワード、講演会資料をメールにてお送りします。

【 申し込み締め切り 】 7月15日（金）

【お申込み・問合せ】

下記へメールまたはFAXをお願いいたします。

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター

メールボックス 60番

FAX 03-3235-0050

*FAXでのお申し込みは「民相連 メールボックス60番」と記入してください。

メール info@minsouren.org

URL <http://www.minsouren.org/>

*ホームページから直接申し込むことができます。

民間相談機関連絡協議会

QRコード

